大手町地区第一種市街地再開発事業の本市負担額は

問　再開発ビル「イーラde」の建設を含む大手町地区第一種市街地再開発事業における本市の負担額は。

答　本事業は都市計画事業として施行したことにより、国・県の補助金を得ており、これらの補助金を除いた約二十九億円を本市が負担するものである。

沼津駅南第一地区土地区画整理事業区域内の土壌処理は

問　沼津駅南第一地区土地区画整理事業施行区域内の鉄道跡地の土壌から、土壌汚染対策法に定められた基準値を超える鉛が検出されたが、この土壌の処理は。

答　本事業の施行地区は、土壌汚染対策法の適用地域に当たらないが、建物移転や公共施設整備の実施に先立ち、法に準拠した任意の土壌調査を行った結果、基準値を超える鉛が検出された。この土壌の処理に当たっては、法の規定に準拠して、汚染が確認された箇所の土壌を表土から汚染のない深さまで掘削して土壌を入れかえ、市外の汚染土の処理が可能な最終処分場に搬出している。今後は、調査未実施区域の調査を行うとともに、その結果も踏まえて、費用や処理方法について関係機関と協議していきたいと考えている。

都市計画道路八重塚田線の整備に向けた取り組みは

問　①香貫地域において、交通渋滞緩和のため南北道路が必要と考えるが、都市計画道路八重塚田線の整備に向けた取り組みは。②国道四一四号静浦バイパス及び都市計画道路八重塚田線の整備に伴う登下校時の児童・生徒への交通安全対策は。

答　①香貫地域における南北の幹線道路である国道四一四号は日常的に渋滞が発生していることから、本地域における交通渋滞の緩和や自転車・歩行者の安全な通行を図るために、南北道路の整備が必要と考えている。このため、南北道路である都市計画道路八重塚田線のうち、国道四一四号静浦バイパスから都市計画道路我入道線までの延長約三百八十メートルについて、平成十九年度には、現地測量や詳細設計を行い、平成二十年度には、道路事業の国庫補助の採択を受け、用地買収に着手する予定である。今後も、国道四一四号静浦バイパスの完成を見据え、整備を進めていきたいと考えている。②二つの道路整備に伴い、歩行者を含めた交通の流れの変化が予測され、これまで以上に登下校時の児童・生徒などへの配慮が必要となる。このため、時間帯による車両の通行規制などが考えられるが、住民の生活への影響を考慮し、学校関係者や関係自治会などとともに通学路のあり方や交通規制の必要性の検討を行い、関係機関と協議していきたいと考えている。

▲日常的に渋滞が発生している国道414号（下香貫上障子）

農地の耕作放棄や埋め立て行為等の対策は

問　本市における農地の耕作放棄や埋め立て行為等の対策は。

答　農業の後継者不足などにより、農地の耕作放棄地を発生させないためには、各種農業振興策の推進にあわせ、農地所有者に対し、関係機関とともに環境保全機能など農地が持つ多面的機能を説明し、耕作放棄地の未然防止や埋め立て業者等に安易に土地を貸さないよう理解や協力を求めている。また、周辺環境への影響が懸念される農地の埋め立て行為等については、今後、本市における農業、環境、土地利用等の関係部局が連携して、対策の検討を進めていきたいと考えている。